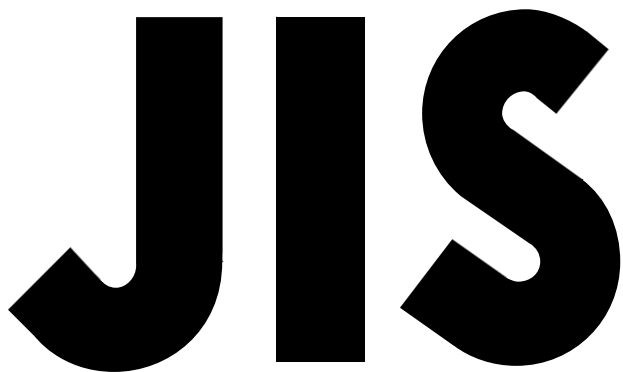




硬化コンクリート中に含まれる 塩化物イオンの試験方法

JIS A 1154 : 2012

(JCI)

平成 24 年 3 月 1 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 土木技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	河 野 広 隆	京都大学
(委員)	阿 部 道 彦	社団法人日本建築学会 (工学院大学)
	綾 野 克 紀	公益社団法人日本コンクリート工学協会 (岡山大学)
	石 坂 弘 司	東京都
	宇 治 公 隆	公益社団法人土木学会 (首都大学東京)
	古 賀 康 男	社団法人セメント協会
	木 幡 行 宏	室蘭工業大学
	小 林 延 房	社団法人日本建設業連合会 (飛鳥建設株式会社)
	清 水 和 久	特定非営利活動法人コンクリート製品 JIS 協議会 (旭コンクリート工業株式会社)
	鈴 木 一 雄	全国生コンクリート工業組合連合会
	須 田 久美子	鹿島建設株式会社
	長谷川 直 司	独立行政法人建築研究所
	真 野 孝 次	財団法人建材試験センター
	利 藤 房 男	公益社団法人地盤工学会 (応用地質株式会社)
	渡 辺 博 志	独立行政法人土木研究所

主 務 大 臣：国土交通大臣 制定：平成 15.5.28 改正：平成 24.3.1

官 報 公 示：平成 24.3.1

原 案 作 成 者：公益社団法人日本コンクリート工学会

(〒102-0083 東京都千代田区麹町 1-7 相互半蔵門ビル TEL 03-3263-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 稲葉 敦)

審議専門委員会：土木技術専門委員会 (委員長 河野 広隆)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者、国土交通省住宅局 住宅生産課 [〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3 TEL 03-5253-8111 (代表)] 又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 [〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 TEL 03-3501-1511 (代表)] にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	1
4 共通事項	2
5 分析試料の採り方及び取扱い方	2
5.1 分析試料の採り方	2
5.2 試料の保存	2
6 試料のはかりとり量	2
7 全塩化物イオンの抽出方法	3
7.1 方法概要	3
7.2 試薬	3
7.3 装置及び器具	3
7.4 操作	3
7.5 分取量又は希釈率	4
8 試験方法	4
9 塩化物イオン電極を用いた電位差滴定法	4
9.1 概要	4
9.2 試薬	4
9.3 装置及び器具	5
9.4 操作	5
9.5 計算	6
10 チオシアン酸水銀（Ⅱ）吸光光度法	6
10.1 概要	6
10.2 試薬	7
10.3 装置及び器具	7
10.4 操作	7
10.5 計算	8
11 硝酸銀滴定法	8
11.1 概要	8
11.2 試薬	8
11.3 器具	9
11.4 操作	9
11.5 計算	9
12 イオンクロマトグラフ法	9
12.1 概要	9

	ページ
12.2 試薬	9
12.3 器具及び装置	10
12.4 準備操作	10
12.5 操作	10
12.6 計算	11
13 結果	11
14 報告	11
14.1 必ず報告する事項	11
14.2 必要に応じて報告する事項	11
附属書 A (参考) 硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオン分析用試料の採取方法	12
附属書 B (参考) 硬化コンクリート中に含まれる温水抽出塩化物イオンの分析方法	15
附属書 C (参考) 技術上重要な改正に関する新旧対照表	18
解 説	19

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人日本コンクリート工学会（JCI）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、国土交通大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS A 1154:2003** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。国土交通大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

硬化コンクリート中に含まれる塩化物イオンの 試験方法

Methods of test for chloride ion content in hardened concrete

1 適用範囲

この規格は、硬化コンクリート中の、硝酸で抽出される塩化物イオンの試験方法について規定する¹⁾。
なお、技術上重要な改正に関する旧規格との対照を**附属書 C**に記載する。

注¹⁾ 硝酸で抽出される塩化物イオンは、硬化コンクリートに含まれる塩化物イオンの全量と考えられている。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS K 0050** 化学分析方法通則
- JIS K 0557** 用水・排水の試験に用いる水
- JIS K 8005** 容量分析用標準物質
- JIS K 8102** エタノール（95）（試薬）
- JIS K 8230** 過酸化水素（試薬）
- JIS K 8541** 硝酸（試薬）
- JIS K 8550** 硝酸銀（試薬）
- JIS K 8617** 炭酸カルシウム（試薬）
- JIS K 8646** デキストリン水和物（試薬）
- JIS K 8830** ウラニン（試薬）
- JIS K 8982** 硫酸アンモニウム鉄（III）・12 水（試薬）
- JIS P 3801** ろ紙（化学分析用）
- JIS R 1301** 化学分析用磁器ろつぼ
- JIS R 1302** 化学分析用磁器蒸発ざら
- JIS R 3503** 化学分析用ガラス器具
- JIS R 3505** ガラス製体積計
- JIS Z 0701** 包装用シリカゲル乾燥剤

3 用語及び定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、次による。